

共通一第5号様式 見積参加者選考調書（特定随意契約用）

見積参加者選考調書（特定随意契約用）

調 達 件 名	発達障害者支援モデル事業実施業務		
発 注 課	保) 障がい保健福祉部 障がい福祉課		
選 定 事 業 者	社会福祉法人はるにれの里		
随意契約の理由（相手方を特定した理由を含む。）			
<p>本事業は、行動障害や二次障害のある発達障害児・者に対する支援手法、医療、保健、福祉、教育、司法等の各分野間での連携による切れ目のない支援手法の開発を目的とする。</p> <p>当該法人は、発達障がい者支援では市内における他の相談事業所から相談及び助言を求められる指導的立場にある。あわせて、当該法人は、札幌市自閉症者自立支援センターおよび札幌市自閉症・発達障がい支援センターの指定管理者として、発達障害者支援法が平成17年に施行された当時から相談支援の経験をもち、他の相談事業所にはない専門的な知識・技術を有している。</p> <p>以上のことから、当事業の業務内容を熟知し、確実に業務の実施を履行することが見込まれる法人は当該法人以外にはないと認められることから、随意契約（特定）が適当である。</p>			
根拠法令	地方自治法施行令第167条の2第1項第2号		
出席委員	障がい保健福祉部長	竹村 真一	
	障がい福祉課長	松浦 恭明	
	企画調整担当課長	木下 健二	
	自立支援担当課長	坪田 康嗣	
	事業管理係長	山本 公崇	
決定確認欄	令和2年3月18日		
委 員 長		書 記	
保健福祉局障がい保健福祉部長 竹 村 真 一 印		保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課 事務職員 上村 純樹 印	

備考1 随意契約の理由は、随意契約ガイドライン（物品・役務契約）を参考に記載すること。

備考2 予定価格が100万円以下（企画競争による場合を除く。）の場合は、「委員長」を「策定者」に書き替え、出席委員欄及び書記欄に斜線を引いて使用すること。